

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

① 事務事業名		高令者等肉用牛貸付事業				
担当課・係名		産業振興課 農政係				
① 予算科目	会計区分	一般会計	基本計画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
	款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
	項	01 農業費		小分類	02 生きがいを支える農業の確立(重)	
	目	04 畜産業費		重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>		
② 事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
総事業費(千円)		7	5	7	5	7
② 財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
	その他特定財源	1	1	1	0	1
	一般財源	6	4	6	5	6
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。						
③ 対象(誰、何を対象にするのか)						
町内に住む下記の者を子牛(肉用雌牛で、生後4か月以上18か月未満の育成牛)の貸付対象者としている。 1. 満60歳以上の者 2. 肉用繁殖牛の飼養経験を有し、適切な飼養管理が可能な者 3. 粗飼料を生産給与している者で、飼料自給率を向上する意欲がある者 4. 家族の協力が万全であること。 5. 貸付牛の譲渡代金の納入について、滞納していないこと						
④ 目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
高齢者等による肉用牛飼養を促進し、肉用牛頭数の確保を図るとともに高齢者等(飼養農家)の飼養管理活動講習会・研修会の開催により経営及び福祉の向上に資するため。						
⑤ 事業概要						
繁殖用牝子牛を貸付する。 貸付期間は5年間で購入代金550,000円(上限)を貸し付ける。 購入場所はみやぎ総合家畜市場、栃木県矢板家畜市場など、JAを通じて行う。 貸付頭数 23頭(30.3.31現在) 基金総額 19,291,905円(30.3.31現在)						
⑥ 事業を取り巻く状況の変化について						
平成18年度に国庫事業である貸付事業は廃止となり、毎年国へ一部返還し平成23年度で返還が終了している。また、平成19年度より県・町による新規貸付事業として高齢者貸付事業を継続し行っている状況である。						
⑦ 根拠法令等(法律・条例・要綱等)						
色麻町高令者等肉用牛貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例・色麻町高令者等肉用牛貸付基金の管理、運用に関する条例						
⑧ 事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30	
A	単位: 頭	実績値	0	3	6	
		目標値	0	0	0	
定義	年度毎の貸付頭数					
B	単位: 頭	実績値	26	23	23	
		目標値	0	0	0	
定義	年度毎の保有頭数					
⑨ 事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30	
A	単位:	実績値	0	0	0	
		目標値	0	0	0	
定義						
B	単位:	実績値	0	0	0	
		目標値	0	0	0	
定義						

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明	平成19年度から県の補助事業で実施する。	
点数	13	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	繁殖牛の増頭及び高齢者の生きがいにも有効である。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	3
評価の説明	高齢者等肉用牛貸付基金の予算の範囲内で導入を行っており、また借受者については5年間無利子で貸し付けている。	
点数	13	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	貸付予定頭数の範囲内で貸付を行っており、基金を有効に利用している。	
点数	5	

⑪		
課長総括評価	国の事業が廃止となったが、肉用牛の増頭及び高齢者の生きがい対策として県で創設した事業に移行し現在行っており必要事業である。	
合計点	46	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫		
二次評価		

今後の方向性